

火災予防条例等の一部改正について（蓄電池設備に係る基準の見直し）

改正背景

現行の蓄電池設備の規制は、主に開放型の鉛蓄電池を想定した規定となっている。今般、総務省消防庁において、蓄電池設備のリスクに応じた防火安全対策に関する検討が行われ、昨今の蓄電池設備の多様化や、蓄電池容量の大容量化に対応した安全基準になるよう、「対象火気設備等の位置、構造及び管理並びに対象火気器具等の取扱いに関する条例の制定に関する基準を定める省令」及び「火災予防条例（例）」が改正された。この改正に伴い、火災予防条例等を一部改正する。

改正の概要

1 火災予防条例第13条

- (1) 規制単位を「アンペアアワー・セル」から「アンペアアワーセル」に定格電圧を乗じることによって得られる、蓄電池容量「キロワット時」に改める。
- (2) 10キロワット時以下のもの及び10キロワット時を超え20キロワット時以下のもので消防庁長官が定める出火防止措置が講じられたもの（※7号告示第2）は規制対象外とする。
- (3) 屋外に設ける蓄電池設備について、消防庁長官が定める延焼防止措置が講じられたもの（※7号告示第3）は、建築物からの離隔距離を不要とする。

※蓄電池設備の出火防止措置及び延焼防止措置に関する基準（令和5年消防庁告示第7号）

2 火災予防条例第57条

蓄電池設備の届出対象を、20キロワット時を超えるものとする。

3 火災予防条例施行規則第4条の3

火災予防条例第13条の蓄電池設備の規制単位の改正に伴い蓄電池設備の「定格容量及び電槽数」（アンペアアワー・セル）の算定内容から「蓄電池容量」（キロワット時）の算定内容に改める。

4 東京消防庁火災予防規程事務処理要綱

蓄電池設備の概要表（別記様式第94号）について、出力の記入欄の単位を「アンペアアワー・セル」から「キロワット時」へ変更する。

現行

Ah・セル	火災予防条例への適合の要否	届出の要否
4,800Ah・セル未満	対象外	不要
4,800Ah・セル以上	火災予防条例への適合	必要



改正後

蓄電池容量	火災予防条例への適合の要否	届出の要否
10kW 時以下	対象外	不要
10kW 時超 20kW 時以下	※7号告示第2に適合するものは対象外	不要
20kW 時超	火災予防条例への適合 ※7号告示第3に適合するものは離隔距離不要	必要

4,800Ah・セルを基準とした主な蓄電池設備の蓄電池容量(kW 時)

電池種別	Ah・セル	電圧(V)	蓄電池容量(kW 時)
鉛蓄電池	4,800	2	9.6
ニッケル水素蓄電池		1.2	5.76
リチウムイオン蓄電池		3.7	17.76

火災予防条例等の一部改正について（固体燃料を用いた火気設備等に係る基準の見直し）

改正背景

現在、炭火焼き器は、使用温度に関するデータが存在しなかったことから厳しい規制が適用され、可燃物からの離隔距離を大きく確保する必要があり、機器の設置に際し支障となっている状況である。今般、総務省消防庁において、固体燃料を用いた厨房設備の離隔距離に関する検討が行われ、「対象火気設備等の位置、構造及び管理並びに対象火気器具等の取扱いに関する条例の制定に関する基準を定める省令」及び「火災予防条例（例）」が改正された。この改正に伴い、火災予防条例の一部を改正する。

改正の概要

固体燃料を使用する厨房設備としての、木炭を燃料とする「炭火焼き器」について、建築物等及び可燃性の物品までの火災予防上安全な距離を、別表第3に新たに規定する。

○ 炭火焼き器

耐火レンガとモルタルで構築された燃焼室部分をステンレスのフレームで覆う構造のものが広く普及している。



炭火焼き器

○ 固体燃料（木炭）

国内で一般に流通する業務用炭火焼き器の燃料として「黒炭」及び「オガ炭（白）」等が用いられている。



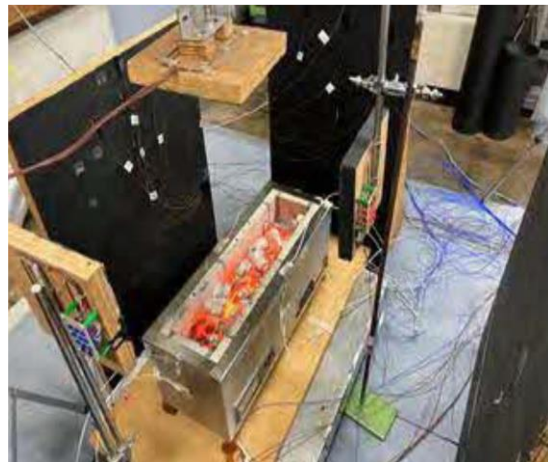
黒炭



オガ炭（白）

○ 実験

固体燃料を用いた炭火焼き器の離隔距離を定めるために実施した実験状況。発熱量の大きい「黒炭」を使用し、周囲の木壁が100℃を超えない離隔距離を検証したものの。



火災予防条例 別表第3

種類		離隔距離(センチメートル)					備考			
		入力	上方	側方	前方	後方				
(略)										
二 厨 房 設 備	気 体 燃 料	特 定 不 燃 以 外	開放式	組込型こんろ・グリル付こんろ・グリドル付こんろ、キャビネット型こんろ・グリル付こんろ・グリドル付こんろ	14キロワット以下	100	15注	15	15注	注 機 器 本 体 上 方 の 側 方 又 は 後 方 の 離 隔 距 離 を 示 す。
			据置型レンジ	21キロワット以下	100	15注	15	15注		
		特 定 不 燃	開放式	組込型こんろ・グリル付こんろ・グリドル付こんろ、キャビネット型こんろ・グリル付こんろ・グリドル付こんろ	14キロワット以下	80	0	/	0	
			据置型レンジ	21キロワット以下	80	新規追加	/	0		
	固 体 燃 料	特 定 不 燃 以 外	木炭を燃料とするもの	炭火焼き器	/	100	50	50	50	
		特 定 不 燃	木炭を燃料とするもの	炭火焼き器	/	80	30	/	30	
上 記 に 分 類 さ れ な い も の	使用温度が摂氏 800 度以上のもの		/	250	200	300	200			
	使用温度が摂氏 300 度以上 800 度未満のもの		/	150	100	200	100			
	使用温度が摂氏 300 度未満のもの		/	100	50	100	50			
(略)										

(画像出典：火を使用する設備等の評価方法及び防火安全対策に関する検討部会報告書)